

# 大淀川右岸 土地改良

題字は宮崎県知事 松形祐亮

## 創刊号

平成15年6月発行

〒889-1701

宮崎県宮崎郡田野町甲9003-55  
大淀川右岸土地改良区  
事務局電話 (0985) 86-1977

語り継ごう 先人の汗と英知！



とき  
通水の瞬間を待つ関係者



## 広報『大淀川右岸土地改良』の創刊を祝して



宮崎県知事

松形祐堯

大淀川右岸土地改良区  
理事長 田代町長

丸目賢一

## 組合員のみなさまへ

情勢は、担い手の減少や高齢化、さらには輸入農産物の増加や消費者ニーズの多様化など、大変厳しいものがあります。

このため、県におきましては「第五次宮崎県農業・農村振興長期計画」を策定し、魅力ある農業と活力に満ちた農村の実現に向けて、農業関係者はもとより県民の皆様の御理解と御参加もいただきながら、新たなブランド対策や県民運動としての地産地消運動など、本県の特性を生かした独自の施策を総合的に進めているところであります。

私は、「くらしといのち」の安全と安心を支える農業こそ、二十一世紀の未来産業であると確信しております。

「大淀川右岸土地改良事業」によりまして、未来産業にふさわしい、夢と希望があふれる新たな畠地かんがい営農が展開されるものと大いに期待をいたしております。そこでござります。

また、「大淀川右岸土地改良区」は、かんがい用水を適切かつ安定的に供給するという極めて重要な責務を担うとともに、国土や環境の保全など農業・農村が持つ多面的機能の維持増進という大きな役割も担つております。

今後とも、地域の方々と連携しながら、これらの重要な責務が十分遂行されますよう、祈念申し上げます。

最後になりましたが、大淀川右岸土地改良区並びに組合員の皆様のますますの御活躍と御発展を祈念申し上げ、広報『大淀川右岸土地改良』の創刊に当たりましてのお祝いの言葉をいたします。

この間、事業推進に携われた農林水産省をはじめ、地元関係者の皆様におかれましては、多大なる御苦労があつたものと、深く敬意を表する次第でござります。

さて、二十一世紀を迎え、農業・農村を取り巻く



改良区の設立を成したとはいえ、受益地区での水の供用率を勘案しますと、安定した改良区運営には

まだしばらく年数を要することとなります。今後、水利用の普及拡大を大いに図るとともに、組合員の皆様の積極的な土地改良事業への取り組みをお願いする次第であります。

大淀川右岸地区の土地改良事業は、国営かんがい排水事業と県営事業等の整備により、事業効果が発生いたすことになります。したがって畠地かんがい事業が整備されることにより、安定的な水の供給が可能となり、より収益性の高い、営農の展開が図れるることは各地の先進地の事例を見ましても明らかであります。

その水源池である天神ダムは、平成十三年に試験湛水を終え、既に有効貯水量六二〇万トンを貯えており、本格的供用開始に向け万全を期しております。国営造成施設は、この他地区内にはファームボンド、分水工、揚水機場等多々あり、管理運営が適切でないと、ほ場での水利用に支障をきたします。これからは「維持管理の時代」と言われますよう、大淀川右岸土地改良区にとりましてもいかに適切な管理運営を行っていくか組合員の皆様と十分に検討してまいりたいと思います。

また、造成施設は国、県当局及び関係者のご協力で完成した施設であります。私達の先人が残した土地改良施設と同様、大切に維持管理をして後世に伝えていかなければなりません。これら施設の中には公益的機能を果す施設もいくつもあり、国の施策として示された食糧、農業、農村基本法に譲る「水利施設の多面的機能の十分な發揮」に沿い広く社会還元を図っていくべきだと思います。今後は、維持管理の大きな柱となる「大淀川水系広域農業水利施設総合管理条例」について国、県のご指導、ご協力及び関係市町と協議を重ねながら具体的実現に向けて、確実に歩を進めて参りたいと思いますので、皆様のより一層のご指導とご協力をよろしくお願ひいたします。

## 大淀川右岸土地改良区の設立に寄せて



清武町長  
一ノ瀬 良尚

長年にわたる事業推進の大きな成果の一つが、本年二月二十八日付宮崎県認可を得ましての大淀川右岸土地改良区設立として実りましたこと、真におめでとうございます。

思い起こせば、昭和三十年代に南九州一帯を襲つた大旱魃を契機とした大淀川水系における農業用水確保のための大規模事業構想から出発しております、昭和五十六年度の国営事業着工からでも既に二十二年の歳月を要しております、感慨ひとしおです。

本年二月七日の通水式が行われまして、本町北今泉地区の一四〇余ヘクタールにつきましても、天神ダム農業用水の利用が始まっております。

地区内農家の皆様の熱意とご理解の上に、国営右岸事業関連の県営事業が、国県の特段のご高配を受けながら展開されております。

今後、早い段階での整備完成が望されます。

平成十五年度は、大淀川右岸土地改良区立ち上げ

当初の年度であります。九州農政局宮崎農業水利事務所のご理解により施設の管理使用が可能となり、用水を供用できておりますが、まだまだ供用面積が小さいことから、土地改良区では当初から厳しい運営に迫られている状況です。

さて、皆様ご承知のとおり、本市は農業を重要な基幹産業のひとつと位置づけておりまして、温暖な気候と長い日照時間を活かした施設園芸を中心に、水稲、野菜、花卉、果樹、畜産等、農業の振興を図つてまいりました。このような中、昭和五十六年に開始されました国営大淀川右岸土地改良事業による農地への安定的な水の供給は、干ばつの防止をはじめ、

地改良事業の推進が、今後とも重要であると考えますが、何より、受益農家の皆様の組織運営への活発なご意見、ご協力、又、個々の農業経営のご努力によりまして、一日も早く、畠地かんがいに大淀川右岸ありといわれる、大淀川右岸土地改良区となられますことをご祈念申しまして、お祝いの挨拶とさせていただきます。

## 大淀川右岸土地改良区の設立によせて



宮崎市長  
津村 重光

陽光きらめく平成十五年度のはじめに、新たな「大淀川右岸土地改良区」が設立されましたことを心からお喜び申し上げます。

我が国社会・経済状況と農業情勢が大きく変化している中に、今日を迎える事ができましたことは、国、県ご当局をはじめ関係機関の事業に携われた方々のご支援と組合員の皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、本市は農業を重要な基幹産業のひとつと位置づけておりまして、温暖な気候と長い日照時間を活かした施設園芸を中心に、水稲、野菜、花卉、果樹、畜産等、農業の振興を図つてまいりました。このような中、昭和五十六年に開始されました国営大淀川右岸土地改良事業による農地への安定的な水の供給は、干ばつの防止をはじめ、

生産性の向上、施設園芸など幅広い営農の展開が図られるものと期待をしているところでございます。本市の受益地区としましては時屋地区、古城地区がございますが、畑地帯においてはタバコやダイコンなどの露地栽培、水田部においては水稻栽培、施設園芸が行われ、水の確保は長年に渡る念願であります。両地区においては、国、県当局のご尽力と地元の熱意によりまして、すでに圃場整備事業が完了し、現在、国営事業の幹線や関連事業の支線パイプライン工事が着々と進められております。

天神ダムから悠々として送水されてくる農業用水が待ち遠しいところであります。

ご案内のとおり、天神ダムや幹線水路の国営事業は平成十六年度にすべて完了し順次、県営等の末端関連事業により水が供給されていくことになります。

そして、今後は「大淀川右岸土地改良区」によりこれらの土地改良施設の適性なる維持管理と円滑な用水供給により農業の安定合理化を図っていかなければなりません。土地改良区の運営につきましては、これまでに亘り検討を加えてきておりますが、これまた、これまでに亘り検討を加えてきておりますが、円滑な運営が図られるよう今後とも田野町、清武町と一緒にとなつて支援して参りたいと思います。どうか組合員の皆様も確保された水と施設を有効に活用し、いかにして付加価値の高い農産物を生み出すか創意工夫を重ねて頂きたいと思います。

本市としましても、関連事業の推進はもとより水利の普及拡大と農業振興のため最善を尽くして参りますので組合員の皆様のなお一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 右岸地区の通水を迎えて



宮崎農業水利事務所  
所長  
奥 村 太樹雄

地元農家の皆様、関係市町、宮崎県等の関係機関の御協力により、国営大淀川右岸土地改良事業が順調に進んでいることにつきましては、心から深くお礼を申し上げます。

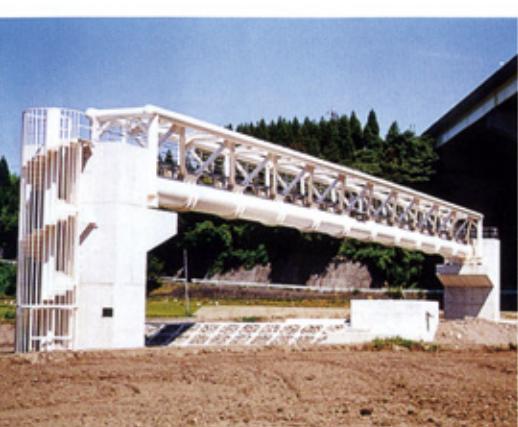
大淀川右岸地区の水源施設であります天神ダム（有効貯水量六二〇万m<sup>3</sup>）については、平成十一年十月から平成十三年七月に試験湛水を行い、平成十四年三月に国土交通省のダム完成検査を了した後、昨年の台風の降雨により満水となり、現在もその状況にあります。

また、総延長四十kmにおよぶ幹支線水路（パイプライン）は、平成十五年三月末までに三九kmの布設工事を終えており、平成十六年度の事業完了に向けて、残区間の施工と施工済み区間の安全確認のための試験通水を進めていくこととしています。

今後、大淀川右岸土地改良区の管理技術の習得、習熟が待たれるところです。宮崎農業水利事務所としては、一日も早く皆様方の御期待に応えられるよう関係市町、宮崎県等と一体となつて引き続き努力して参る所存ですので、今後とも御支援、御協力を宜しくお願いします。

このたび、一部の農地へ通水を開始することとなり、事業目的の達成に一歩進むこととなりましたが、用水施設の「建設」の効果を十全に發揮するには、改めていうまでもありません。

さて、本事業の目的は「農業用水の安定的な確保と供給を行い、併せて実施される末端畑地かんがい施設の整備、区画整理等を行うことにより、農業の近代化と農業経営の安定を図る」ことであることは、改めていうまでもありません。



別府田野川に架かる水管橋

線水路の用水施設の建設と、県営事業等による国営用水施設に付帯する用水施設の建設を進めて参りましたが、施設を建設しただけでは農業用水の供給はできず、これら用水施設の操作運転、保守点検、補修等を行う「管理」が必要となります。

大淀川右岸地区においては、これら施設の管理は平成十五年三月に設立されました「大淀川右岸土地改良区」が担うこととなっています。具体的には、

土地改良区職員の行う天神ダムにおける河川水の貯水から始まり、ダム湖から農業用水の取水、導水路、幹支線水路への通水と分水施設の操作等が行われた後、各は場に設置される給水栓（バルブ）を農家の方々が操作することにより、水が届くことになります。

また、別府田野川に架かる水管橋

## 祝 大淀川右岸地区土地改良



通水式で祝辞を述べる松形知事



ダムからの水の散水状況

春まだ浅き七野台地の一角は、この日一日熱気に包まれました。長年待ち望んだ天神ダムからの通水が実施されたのです。思わず快哉を叫ぶと同時に、昔日の七野用水のことが脳裏をよぎりました。大正二年から九年にかけて困難辛苦の末、天神より七野までくりぬかれた用水路は、一部崩落ヶ所はあるものの、今なお現役で機能しており、改めて先覚者の足跡の偉大さを痛感しました。

**表紙の写真**



# 天神ダムからの通水を実施！

平成十五年二月七日晴天にめぐまれた田野町七野の圃場において、大淀川右岸地区土地改良事業促進協議会主催による天神ダムからの通水式が厳かにも盛大に行なわれました。この日は、九州農政局より大串局長をはじめ宮崎県より松形知事、地元からは丸目田野町長ほか多数の事業関係者の出席を頂きました。大淀川右岸地区的土地改良

事業は、昭和五十六年に事業着工され有効貯水量六二〇万トンの天神ダムを建設し、導水路及び幹支線水路を整備して水田の用水補給と畠地かんがいを主目的に事業が実施されています。現在の進捗率は約九八%で平成十六年には全ての国営事業が完了することになります。

同地区は若い人の後継者も多く、天神ダムからの用水を取り入れた施設型営農が徐々に進められており、従来の農業形態が今、大きく変わろうとしています。安定した農業用水を利用して、高品質な作物栽培を可能とし生産性と収益の向上を目指し地元は頑張っています。

ここ七野地区は昭和五十八年に県営特殊農地保全整備事業として着工され、平成九年には圃場整備が完了し、現在水事業が実施されており、全体事業のうち約三九%がすでに完了しています。畠地帯総合整備事業によりかんがい排水事業が実施されており、全体事業のうち約三九%がすでに完了しています。

# 大淀川右岸土地改良区設立総代会を開催

## 議案

- 議案第1号 定款、維持管理計画書について
- 議案第2号 役員選任規程等規約について
- 議案第3号 平成15年度事業計画について
- 議案第4号 平成15年度組合員の賦課徴収方法及び納付について
- 議案第5号 平成15年度役員報酬について
- 議案第6号 平成15年度一般会計収入支出予算書について
- 議案第7号 金銭預入先の金融機関指定について
- 議案第8号 平成15年度借入金の最高限度額並びに借入先について
- 議案第9号 平成15年度職員退職給与積立金特別会計収入支出予算について
- 議案第10号 大淀川右岸地区土地改良事業促進協議会備品等の移管について
- 議案第11号 宮崎県土地改良事業団体連合会加入について
- 議案第12号 役員選任について



理事長に選任された丸目田野町長

## 総代の選挙区と定数

項目	選挙区域	総代数
第1選挙区	宮崎郡田野町	28人
第2選挙区	宮崎郡清武町	20人
第3選挙区	宮崎市	8人
計		56人

平成十五年三月三十一日に田野町脇にある中央管理所において大淀川右岸土地改良区設立総代会が開催されました。当日は来賓として国、県、関係市町からそれぞれ出席を頂きました。奥村宮崎町長、黒木県議会議員、西川中部農林振興農業水利事務所長、農業水利事務所長よりご祝辞を賜りました。続いて田野町の磯貝総代を議長に選出して議事に入り、提案された全ての議案について審議して頂き原案通り可決されました。選挙により総代に当選された各総代は、これから向こう四年間大淀川右岸土地改良区の運営にたずさわって頂くことになります。



妹尾選挙管理委員長から祝辞を受ける各総代

## 新総代に当選証書を交付

大淀川右岸土地改良区の総代選挙が去る三月十六日に執行され新総代六名が決まりました。

大淀川右岸地区土地改良事業促進協議会より  
改良区へバトンタッチ

大淀川右岸地区土地改良事業促進協議会は、改良区設立にともないその主要業務を大淀川右岸土地改良区へバトンタッチしました。今後は、土地改良区のなかにおいて一緒に国営、県営等の事業推進を行つてまいります。

# 新総代の就任

大淀川右岸土地改良区の総代選挙が去る三月十六日に執行され次の通り新総代が決まりました。

## 大淀川右岸土地改良区総代名簿

【任期 平成15年3月16日～平成19年3月15日】

選挙区	氏名	住所	選挙区	氏名	住所
第1	若森 春美	宮崎郡田野町甲5228番地4	第2	黒田 貞幸	宮崎郡清武町大字今泉甲4637番地2
〃	伊豆元義徳	タ 甲6157番地6	〃	河野 博	タ 今泉甲4675番地
〃	谷口 光臣	タ 甲7492番地2	〃	小玉 康幸	タ 木原甲4630番地1
〃	磯貝 輔博	タ 甲5014番地3	〃	新田 忠	タ 今泉乙467番地イ
〃	藤山 宏紀	タ 甲6190番地4	〃	川越 栄治	タ 木原5889番地2
〃	川崎 剛	タ 甲4703番地5	〃	坂元 美好	タ 木原3186番地1
〃	船ヶ山信光	タ 甲2030番地2	〃	大野 英幸	タ 今泉丙679番地2
〃	椎 高偉	タ 甲6371番地	〃	日高 勝美	タ 今泉甲3713番地2
〃	松山 光一	タ 乙4426番地9	〃	諸岩 義節	タ 今泉甲1011番地3
〃	甲斐 隆正	タ 乙5224番地1	〃	戸高 恒美	タ 今泉甲6533番地
〃	川越清一郎	タ 乙4253番地	〃	佐藤 博	タ 今泉甲829番地2
〃	渡部 利明	タ 乙661番地1	〃	川越 忠廣	タ 今泉丙2176番地
〃	垂野 正己	タ 乙13632番地	〃	野崎 忠善	タ 船引4006番地1
〃	松山 肇	タ 乙2107番地1	〃	黒木 逸夫	タ 船引1383番地
〃	津田 弘行	タ 甲12308番地3	〃	落合 重嗣	タ 船引837番地
〃	安井 祥裕	タ 甲9690番地	〃	岩切 勝彦	タ 加納乙210番地
〃	高野 忠	タ 甲3807番地	〃	坂元 俊郎	タ 今泉甲2449番地
〃	湯地 英徳	タ 甲9889番地	〃	坂本 裕則	タ 船引7278番地
〃	松山 秀一	タ 甲12309番地の2	〃	崎田 正志	タ 船引7284番地
〃	内八重憲一	タ 甲12086番地	〃	長友 信政	タ 船引7106番地
〃	安田 獻	タ 甲12966番地5	第3	奥野 悟	宮崎市古城町古城6153番地
〃	田中 康明	タ 乙10150番地2	〃	高橋 研三	宮崎市大字細江3350番地
〃	栗原 俊朗	タ 乙9200番地	〃	成合奈良利	宮崎市古城町時雨3903番地
〃	倉岡 長生	タ 甲2058番地	〃	野崎 真一	宮崎郡清武町大字船引4037番地
〃	野崎 紘文	タ 乙11141番地1	〃	奥野 利明	宮崎市古城町後藤寺6426番地
〃	永牟田 茂	タ 甲2801番地の5	〃	長友 隆志	宮崎市古城町柳町5082番地
〃	松山 昭治	タ 乙7247番地1	〃	鬼塚 武	宮崎市古城町古城6218番地
〃	中村 泰啓	タ 乙7217番地4	〃	鬼塚 見	宮崎市古城町山ノ城5723番地

### 編集後記

昭和五十六年に事業着工された大淀川右岸地区の土地改良事業は、絶余曲折を経て、ようやく平成十五年三月土地改良区の設立に至った。県下における大規模土地改良区としては、一つ瀬川、綾川に次ぐ土地改良区といえる。独自の本格的水源施設を持つ大淀川右岸土地改良区は、この他地区内に多くの土地改良施設を有しております。これら維持管理は容易ではなく、正にこれからが正念場といえる。我国の食糧供給基地としての一翼を担うという意気込みに燃え、一九六〇ヘクタール全ての農地における水利の普及拡大を図つていかなければならぬ。

**大淀川右岸土地改良区**  
TEL 86-1977  
FAX 86-1994  
漏水や管破損等緊急時には  
改良区へご連絡ください。

水は、貴重な資源です。農地でのかけ流しや不必要的水使用は他の皆さんに迷惑がかります。有効に活用し、適切な水管理を心がめましょう。水使用にあたつてのご相談は、大淀川右岸土地改良区へご連絡ください。

**水资源を、大切に**

## 新役員の就任

平成15年3月31日開催「総代会」及び6月26日開催「臨時総代会」において次の通り新役員が選任されました。

### 大淀川右岸土地改良区理事名簿

【任期 平成19年3月31日まで】

氏名	役職	住所
丸目 賢一	田野町長	宮崎郡田野町甲2818番地
一ノ瀬 良尚	清武町長	宮崎郡清武町大字船引204番地
津村 重光	宮崎市長	宮崎市橘通西1丁目1-1
古瀬 康人		宮崎郡田野町甲5194番地1
菊地 庸裕		乙4271番地
藤野 吉郎		乙1039番地
津田 勝		甲12961番地イ号
川越 正則		乙13167番地3
後藤 兼久		乙9185番地1
安藤 秀秋		乙9686番地の2
竹之内 健		甲2826番地1
黒木 萬市		宮崎郡清武町大字船引1414番地ロ-1
平原 正國		今泉3028番地
小倉 重俊		木原5928番地イ
黒木 宗重		今泉甲4507番地3
長友 寛昭		船引7238番地
小岩屋 正勝		宮崎市古城町犬ノ馬場3573
戸高 博		長田5845

### 大淀川右岸土地改良区監事

【任期 平成19年3月31日まで】

氏名	役職	住所
北村 光雄	田野町収入役	宮崎郡田野町甲2818番地
貴島 直也		宮崎市細江椎屋形4661番地
黒木 政章		宮崎郡清武町大字船引7261番地

設立総代会修了後、第1回理事会が開催され次の通り執行体制が決まりました。

理事長 丸目 賢一

庶務担当理事 小倉 重俊

副理事長 一ノ瀬 良尚

会計担当理事 菊地 庸裕

副理事長 津村 重光

総括監事 北村 光雄